

福島工業高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	地域計画
科目基礎情報				
科目番号	0086	科目区分	専門 / コース必修	
授業形態	講義・演習	単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	建設環境工学科 (R2年度開講分まで)	対象学年	4	
開設期	通年	週時間数	1	
教科書/教材	都市計画, 日笠端, 共立出版、都市計画教科書, 都市計画教育研究会編, 彰国社			
担当教員	齊藤 充弘			
到達目標				
①全国総合開発計画について理解し, 国土計画の現状を説明することができる。 ②近代都市計画の設計理論を理解し, 都市計画の考え方を説明することができる。 ③都市計画の内容や基本事項を習得し, 地域の課題を抽出することができる。 ④まちづくりの考え方を習得し, まちをみる目を養う。				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。	各授業項目の内容を理解している。	各授業項目の内容を理解していない。	
評価項目2				
評価項目3				
学科の到達目標項目との関係				
学習・教育到達度目標 (B)				
教育方法等				
概要	都市・地域計画の基礎的な知識と理論を習得するとともに, 現代のまちづくりの事例を通して, 近代都市計画の課題と将来展望について学習する。			
授業の進め方・方法	中間試験は, 授業時間中に50分で実施する。期末試験は, 50分で実施する。定期試験の成績を70%, キャッチボールシートへの記入状況やレポート, 課題の総点を30%として総合的に評価し, 60点以上を合格とする。			
注意点	政治, 経済, 社会的諸活動が日常的に展開する都市を総合的な視点からみるため, 理解するために取り入れる知見は多く, 関係する学問の幅も広い。絶えず問題意識をもってまちをみて, 利用すること。また, 毎回のキャッチボールシートへの記入や課題の提出により, 自学自習や理解度を確認する。			
授業計画				
		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	オリエンテーション	都市とは何か, 都市計画とは何か
		2週	地域構造	国土・地域の考え方と地域構造
		3週	地域開発の歴史と地域構造の変化	古代ー近代までの地域計画
		4週	全国総合開発計画(1)工業化の時代	全総, 新全総
		5週	全国総合開発計画(2)成熟社会と環境への配慮	三全総, 四全総
		6週	全国総合開発計画(3)	21世紀の国土のランドデザイン, 国土形成計画
		7週	前期中間試験	
		8週	国土計画と地域構造	国土計画の現状と課題, 大ロンドン計画, 地方圏と過疎地域
	2ndQ	9週	人間活動の歴史的展開と都市形成	自然発生都市
		10週	都市問題の発生と都市計画の誕生	計画都市, 土木構造物の建設
		11週	都市の空間システム	都市構造, 空間構成要素
		12週	近代都市計画の設計理論(1)	田園都市, 工業都市
		13週	近代都市計画の設計理論(2)	人口300万人の現代都市, 近隣住区理論
		14週	近代都市計画の展開(1)	計画の前提と課題, 特徴, モデル化
		15週	近代都市計画の展開(2)	日本における展開, 欧米との違い, 近世城下町
		16週		
後期	3rdQ	1週	都市計画の内容(1)	区域指定, 線引き
		2週	都市計画の内容(2)	用途地域制, 土地利用計画
		3週	都市計画の内容(3)	道路と敷地の関係, 建ぺい率, 容積率
		4週	都市計画の体系	都市計画マスタープラン, 上位計画, 下位計画
		5週	市街地整備	市街化, 道路の役割
		6週	市街化と市街地整備	宅地化, 都市施設整備, 農地保全
		7週	後期中間試験	
		8週	都市計画事業と市街地整備	都市計画事業の体系と各種計画の位置づけ
	4thQ	9週	市街地整備手法(1)土地区画整理事業	目的, ルール, しくみ
		10週	市街地整備手法(1)土地区画整理事業	換地, 減歩, 保留地
		11週	市街地整備手法(2)地区計画制度	土地区画整理事業の実際と地区計画制度
		12週	市街地再開発手法(1)	土地収用事業方式, 権利変換事業方式
		13週	市街地再開発手法(2)	特定街区制度, 総合設計制度
		14週	市街地整備の現状と課題	地方都市の中心市街地の現状と課題
		15週	都市計画からまちづくりへ	個性を活かしたまちづくり, 住民主体のまちづくり
		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建設系分野	計画	国土と地域の定義を説明できる。	4	
				都市の持続可能性について理解している。	4	
				西欧型の環境都市について理解している。	4	
				全国総合開発計画・国土形成計画の変遷と系譜について理解している。	4	
				国土計画の歴史と考え方の変遷について理解している。	4	
				全国総合開発計画について理解している。	4	
				国土形成計画について理解している。	4	
				大ロンドン計画について理解している。	4	
				地方圏と過疎地域の計画について理解している。	4	
				諸外国の地域計画について理解している。	4	
				近代都市計画（西欧と日本）について理解している。	4	
				近代都市の特徴と課題について理解している。	4	
				日本、世界における古代、中世および現代の都市計画の思想および理念と実際について、説明できる。	4	
				都市計画法と都市計画関連法の概要について、説明できる。	4	
				都市計画制限と開発許可について理解している。	4	
				土地利用計画と交通計画について、説明できる。	4	
				国勢調査などの既存のデータや人工と社会経済指標（計画フレーム）を理解している。	4	
				総合計画とマスタープランについて、説明できる。	4	
				人口と社会経済指標（計画フレーム）を理解し、その推計ができる。	4	
				都市計画区域の区域区分と用途地域について理解している。	4	
				特別な地区・区域の設定について理解している。	4	
				用途地域の建築規制（建蔽率・容積率・用途規制）について理解している。	4	
				都市形態（チュウネン図と田園都市）について理解している。	4	
				同心円モデルから多核心モデルについて理解している。	4	
				地域・都市交通計画の基本概念について説明できる。	4	
				交通流調査(交通量調査、速度調査)、交通流動調査(パーソントリップ調査、自動車OD調査)について、説明できる。	4	
				交通需要予測(4段階推定)について、説明できる。	4	
				軌道と新交通システムについて理解している。	4	
				モータリゼーションと交通計画について理解している。	4	
				交通とエネルギー問題について説明できる。	4	
				モビリティ・マネジメントと公共交通について理解している。	4	
				道路網整備：道路の機能と段階構成について理解している。	4	
				ユニバーサル・デザインについて理解している。	4	
				高度道路交通システムについて理解している。	4	
				緑化と環境整備(緑の基本計画)について、説明できる。	4	
				公園緑地の種類と役割について理解している。	4	
				緩衝緑地とグリーンベルトについて理解している。	4	
				自然環境の保護・保全について理解している。	4	
				風景、景観と景観要素について、説明できる。	4	
				都市の防災構造化を説明できる。	4	
				災害の履歴と防災計画について理解している。	4	
				土地区画整理事業を説明できる。	4	
				市街地開発・再開発事業を説明できる。	4	
				都市計画道路の計画と整備について理解している。	4	
				中心市街地活性化(再生)について理解している。	4	
				市民参加とワークショップについて理解している。	4	
				道路の種類と管理について理解している。	4	
				交通流、交通量の特性、交通容量について、説明できる。	4	
				道路構造の設計基準と路面の横断構成について理解している。	4	
				パーソントリップ調査について理解している。	4	
				四段階推計法について理解している。	4	
				表層・基層の最小厚さ、路盤材料の最小厚さについて理解している。	4	
				性能指標に関する道路構造令の概要を説明できる。	4	
				設計速度、車線数、車線幅員の標準値を理解している。	4	
				道路の機能と幾何構造について理解している。	4	
				事象と現象の観測について理解している。	4	
				ブレーン・ストーミング（ライティング）について理解している。	4	

				計画の意義と計画学の考え方を説明できる。	4	
				計画の目的論と目標設定を理解している。	4	
				二項分布、ポアソン分布、正規分布(和・差の分布)、ガンベル分布、同時確率密度関数を説明できる。	4	
				確率密度関数と確率分布関数について理解している。	4	
				確率分布の種類と特性について説明できる。	4	
				特性値(平均、分散、モーメント)について理解している。	4	
				統計的点推定法(積率法、最尤法)、統計的区間推定法を理解している。	4	
				二変数統計と相関分析について理解している。	4	
				統計的仮説検定、確率分布の適合度の検定について理解している。	4	
				実験計画法・分散分析について理解している。	4	
				計算機による基本統計処理ができる。	4	
				調査の方法と調査の企画・設計について理解している。	4	
				全数調査と標本調査の方法について理解している。	4	
				標本抽出法(単純無作為抽出)、層別無作為抽出法、集落抽出法について理解している。	4	
				重回帰分析を説明できる。	4	
				多変量解析の種類について理解している。	4	
				判別分析、主成分分析、因子分析について理解している。	4	
				線形計画法とその図解法について理解している。	4	
				シンプレックス法と双対性について理解している。	4	
				時系列データの予測について理解している。	4	
				費用便益分析について考え方を説明でき、これに関する計算ができる。	4	
				災害の種類について説明できる。	4	
				過去の自然災害(津波、高潮、洪水など)における被害の発生メカニズムを説明できる。	4	
				断層のメカニズム、プレートテクトニクスとの関連を説明できる。	4	
				地震の尺度と地震動を説明できる。	4	
				地盤の卓越周期と共振現象を説明できる。	4	
				土砂災害の特徴を説明できる。	4	
				地震予知の種類について説明できる。	4	
				地震による直接被害と二次災害の特徴を説明できる。	4	
				地盤の液状化被害を説明できる。	4	

評価割合							
	試験	課題等	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0